

---

# 視線を追う

笠置 有

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

視線を追う

### 【Nコード】

N7967H

### 【作者名】

笠置 有

### 【あらすじ】

救いようのない短編その2・おそらく鬱文章。とびこえる、とリンクしてます

## (前書き)

短編とびこえるの別視点です。

鬱文章です。ハッピーエンドではありません。ご注意ください。

ありきたりな考えかもしれないけれど、最近よく考える。

あの時、こう言えば。こうすれば。

今とは違う未来、なんてものが目の前にあったかもしれないのに、  
なんて。

ぐらり、と視界が揺らいだ様な気がした。

でもそれはすぐに気のせいだという思いに変わる。

ああだって自分はここにいる。世界が揺らいだのは、あいつのほう

だ。

騒ぎっていうものは、あっという間に広がるもんだ。

人が一人「いなくなる」なんてことならばなおさら、人は騒ぎ立てる。

ありもしない想像なんてたやすく人の間を行き交うし、事実あったのかもしれない虚言も容易に耳に入ってくる。

それでもその言葉一つ一つが本当なのか嘘なのか、判断がつくほどあいつを知らなかった自分は口を噤むしかない。

「口数が少ないことは美德だ」なんて茶化すよう言ったあいつの言葉に安心したのはつい最近のことなのに、今はそんな自分の性質が妙に腹立たしかった。

クラスになじんでいなかったから？友達も少なかった？休みがちだった？

そんなことどうだっていいだろう。

精神的に弱い子だったしね。環境が合わなかったんじゃない。親も片親だったとか。

だからなんだっていうんだよ。

うるさい うるさい うるさい

硬質な椅子を後ろ足で蹴りあげて、立ち上がる。クラスのざわめきは止んで、視線が集まるのを感じる。

くだらなすぎんだよ。全部。

「あほくさいんだ。全部が」

なあ本当に良かったのかよ。お前が捨てたもんに、そんなに価値があったのかよ。

後ろ手に閉めた鉄製のドアをはさんでざわめきがまた始まる。そんなもんに構う必要なんてないけれど、不快だけが体にまとわりつく気がした。

4階の、非常口脇に狭くて短い階段がある。その先のこれまた重たい扉を開ければ、「屋上」に出られる。空がいちばん近くて、地面

がいちばん遠い場所。

扉を開いた途端に顔面に吹き付ける風とか、そのままローストにされてしまいそうな日差しとか、グラウンドから舞い上がる土のおいだとか、いつもと全然変わらない。

そんで、あいつはそこによく座ってた。柵から10歩分離れた給水塔の影。

佇むみたいに、静かに体を丸めていた。でも視線だけはまっすぐで、何を見てるのか気になった。だから聞いたんだ。

「なあ、何がみえるんだよ」

返る声はない。そんなことはとっくに知っている。

（不思議そうに俺を見上げて「なんにも？」と言って笑ったんだっ  
たっけ）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7967h/>

---

視線を追う

2010年11月23日04時54分発行